



片柳中学校だより

片柳

第9号 令和5年12月1日発行
さいたま市立片柳中学校
さいたま市見沼区大字御蔵551
TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

Human rights(人権)

校長 加藤 明良

今年も早いものであと残すところ1か月となりました。私が子どもの頃の11月は畑が霜で真っ白になったのを毎朝学校へ登校していた記憶が残っています。さいたま市内の実家には数年前植えたミカンの木に実がたわわに実っています。味も甘く埼玉県でもミカンが十分育っている現実を目の当たりにすると温暖化が一段と進んでいると感じます。地球沸騰化の時代がやってきたと国連の事務総長が言う通り、本当に世界的規模での気候変動が心配になってきます。

さて、12月4日～10日までは人権週間です。今年、1948年国連総会において世界人権宣言が採択されてから75年目となります。下記は法務省のスローガンです。



人権とは難しく自分とは関係ないと思ってはいませんか。身近な学校でみなさんの人権が守られているでしょうか。例えば「からかい」「いやがらせ」「ばかにする」「おもしろがってはやしたてる」仲の良い友達同士だからこそ許されると思っていたことが、本人にとっては深刻な人権侵害になっていることはないでしょうか。この人権週間の期間は、日々の学校や友達関係など身近な日常生活での人権が守られているか、見直ししたり考えたりする機会になればと思います。

一方、世界に目を向けると、ウクライナ侵攻、イスラエルでの紛争をはじめ、戦争による様々な人権侵害が起きています。女性や子どもたちが真っ先に犠牲になっている映像を見ると心が痛みます。それぞれの国や武装勢力には言い分があり、自分たちの行為こそ正当性があることを主張しています。争いのない世界が一番であることはだれもがわかっている、なかなかそうはならない、これが世界の現実です。今世界で起きていることにも目を背けることなく、その時代に生きている者としてテレビや新聞、ネットなどで関心を持って見てほしいと思います。

本校でも12月8日に人権集会を開催します。昨年はLGBTQについてのお話を聞きました。今年、ウクライナに留学経験があり、人道支援活動に携わっている方をお招きします。今ウクライナをはじめ世界で起きていること、人道支援をはじめ私たちにできることなどについて考えてもらおうと思っています。広く世界に目を向けながら、人権が尊重される社会をつくるために自分ができることは何か、そのためには何が必要なのか、など自分事として考える機会にしてほしいと思います。

学校は誰もが平等で、お互いが尊重され、安心できる場所ではなくてはなりません。そのためにも人権について常に考え続けていきたいと思っています。

今年も片柳中学校の生徒のために保護者、地域の皆様方に様々な点でご支援、ご協力いただきありがとうございました。少し早いですが、よいお年をお迎えください。